

議 事 概 要

会議の名称 平成28年度第2回長久手市国民健康保険運営協議会

開催日時 平成29年3月30日(木) 午後1時30分から午後3時まで

開催場所 講義室

出席者氏名

被保険者代表委員	青山 一治
被保険者代表委員	村田 昌克
被保険者代表委員	坂崎 立子
国民健康保険医代表委員	塚本 正美
国民健康保険歯科医代表委員	西村 成弘
国民健康保険薬剤師代表委員	大木 剛
公益代表委員	土方 義信
公益代表委員	近藤 了子
公益代表委員	柳生 聖子
事務局 福祉部次長	成瀬 拓
保険医療課長	矢野 正彦
保険医療課主幹	林 元美
国保年金係長	名久井 洋一
同係専門員	下菌 のぞみ

傍聴者人数 0名

会議の公開・非公開 公開

議題

- 1 平成29年度国民健康保険特別会計予算について
- 2 国民健康保険事業費納付金等の試算結果について
- 3 糖尿病重症化予防事業について

問い合わせ先 長久手市福祉部保険医療課国保年金係

電話 0561-56-0618

議 事 録

1 あいさつ 福祉部次長 成瀬 拓

2 議事録署名者の指名

長久手市国民健康保険条例施行規則第6条第2項の規定により、青山一治委員、西村成弘委員を指名。

3 議題

(1) 平成29年度国民健康保険特別会計予算について

事務局説明 資料1により、平成29年度予算(案)について、平成29年度と平成28年度の歳入歳出の比較及び増減理由を説明。

質疑応答・意見等

会長 何か質問、ご意見はありますか。

会長 医療費は上昇傾向と思われるが、歳出予算の保険給付費が6,500万円ほど減額となっているのは、やはり被保険者数が3%ほど減少することが主な原因なのですか。

事務局 保険給付費の見込みについては、平成28年度までの一人当たりの医療費の推移から平成29年度の一人当たり医療費の見込みをだし、その数字に被保険者数見込をかけて算出しています。一人当たり医療費については1%ほどの増加を見込んでおり、予算額としてはほぼ横ばいの数字となっています。

副会長 平成29年度の被保険者数は3%減少を見込んでいますが、平成30年度以降も同じような推移を見込んでいるのでしょうか。

事務局 被保険者数は今のところ増加する要因はありません。現時点ですでに平成29年度の推計に近い被保険者数になっています。今後も社会保険に加入する人や後期高齢医療制度に移行する人の方が退職して国民健康保険に加入する人より多い傾向は続くと思込まれます。そのため現時点では平成30年度以降もしばらくは横ばいか微減で推移していくのではないかと考えています。

会長 前回の協議会の中で、「以前は自営業者、定年退職者が国保加入者の中心でしたが、ここ最近は現役世帯が退職して加入することが増えてきています。」という事務局からの説明がありましたが、平成29年度予算では退職被保険者がずいぶん減少する見込みとなっているが、どういことですか。

事務局 この場合の退職被保険者というのは単に会社を退職して国民健康保険に加入する人を指すわけではなく、過去に20年以上お勤めをされていて、厚生年金や共済年金を受けることができる60歳以上65歳以下の人を言います。退職被保険者にかかる医療費は社会保険や共済などが負担します。しかし、この制度は平成26年度で廃止されたため、新たに退職被保険者となる人はおらず、現在の退職被保険者が全員65歳を迎えたところで終了します。

前回ご説明したとおり、最近の傾向では現役世代の退職による国民健康保険加入は増加していますが、昨年10月以降は社会保険の適用拡大に伴い社会保険加入による国民健康保険脱退や後期高齢者医療への移行のほうが多い状況です。

長久手市だけではなく、全国的に見ても国民健康保険被保険者数は3%ほど減少しているようです。

委員 歳入の中の財産収入とはどのようなものですか。

事務局 国民健康保険の基金利子による収入です。今年度、基金の取り崩しを行っているため、予算額ほどの利子は見込まれません。

会長 歳出の中で総務費が920万円ほど増加しているが、これは県との共同運営化に伴うものですか。

事務局 平成30年度以降県との共同運営化ということで、各市町の国民健康保険の資格や給付の情報を県単位で管理する必要があります。その情報を県と連携するためのシステム改修費用です。

会長 他に質問はありませんか。それでは、次の議題に進みます。

(2) 国民健康保険事業費納付金等の試算結果について

事務局説明 資料2により、県との共同運営の仕組み、納付金等の試算結果、納付金算定の今年度のスケジュールについて説明

質疑応答・意見等

会長 質問はありますか。

委員 国保事業費納付金の資料の中で、納付金を支払うために必要な収納額13億4210万円とあるが賦課額が14億3601万円となっているのは、保険税を払わない人がいるからということですか。

事務局 この表で先に決まってくるのは保険税収納額です。これは納付金を払うために必要な金額です。しかし収納率が100%でないため、収納額を収納率で割って保険税賦課額を算出しています。収納率は保険者規模別の標準的な収納率93.46%で算出しています。

- 委員 長久手市の収納率はどのくらいですか。
- 事務局 平成27年度決算の状況で94.94%です。しかし、試算ではこの数字は反映されていません。
- 会長 長久手市の収納率はいいほうなのですね。
- 事務局 はい。県全体の収納率より上回っています。今回の試算においても賦課額を算出するために使う収納率について、各市町のそれぞれの収納率を使うのか、県平均を使うのか議論がありました。今後変わる可能性はありますが、今回は保険者規模別の標準的な収納率が使われています。長久手市は被保険者数1万人未満の区分です。
- 委員 収納率が100%でないのはどうしてですか。
- 事務局 保険税は前年の所得に対して課税されます。退職した人など、収入が前年よりも減少するため支払いが難しいという人もいます。また、常に収入が少なく、払うことが困難であるという人もいます。また、所得も多く納付する能力はあるのに、払いたくない払う気がないという人もいます。
- 本市では、様々な滞納者に対して収納課が納税相談を行い、督促、財産調査、差押え等収納事務を行っています。
- 会長 平成27年度決算の一人あたり保険税額8万9千円と比べると今後必要となる保険税額は1.6倍ほどになっていて、これだけ見ているとびっくりするような数字ですね。
- 事務局 本市の現在の保険税と試算との差が大きくなっている要因としては、本市がこの10年間一回も保険税を上げていないことが上げられます。実際はもっと多くの保険税を徴収する必要があったにも関わらず、これまでは税金（一般会計）の繰入れにより現在の保険税率を維持してきたという状況にあります。
- しかし、平成30年度の県との共同運営化に向け、納付金等の支払いに必要な金額を保険税で賄うという形に近づけるよう、委員の皆様にもご協力いただき、保険税率等の改正をしていきたいと考えています。
- 会長 資料の中に「平成30年度から拡充される国の財政支援：約1700億円は考慮していない」とありますが、これは今後国民健康保険へ国から1700億円の支援があるという意味ですか。
- 事務局 1700億円は全国に配分される財政支援の総額でそれぞれの配分は決まっていますが、国・県繰入金（基盤安定負担金（保険者支援分）にあたるものです。
- 会長 この財政支援は国から長久手市に入るのですか。

事務局 国から長久手市に直接入る部分と愛知県に入る部分があると思われ
ます。保険税増額の一定の抑制につながると考えられます。

保険税収入、国・県、そして市の一般会計からの繰入れで納付金を
賄っていくことになるので、それぞれのバランスを考え、保険税率等
の改正を行っていきます。

会長 今後、長久手市の保険税が上がっていくだろうということがわかり
ましたが、一般の人への国保制度改革についての広報はどのような予
定ですか。

事務局 国保制度改革に伴う納付金等の試算の大まかな状況については6月
広報に掲載する予定です。

国保加入者については、(7月の本算定時に)納付書等に同封する形
で周知する予定です。

会長 他に質問はありませんか。それでは、次の議題に進みます。

(3) 糖尿病重症化予防事業について

事務局説明 資料3により、糖尿病重症化予防事業の事業概要(案)につい
て説明。

質疑応答・意見等

会長 質問はありませんか。

副会長 健康づくりはとてもいいことだと思います。ただ、栄養講話などあ
るようですが、実際に料理をしている妻が参加しないと分かりにくい
といったこともあると思いますが、同伴参加も可能なのですか。

事務局 同伴参加も可能にする予定です。今年度行っている教室でも同伴参
加していただいている人もいます。この事業の対象となる人は男性が
多いかもしれませんが、募集の段階から同伴参加も周知します。

副会長 そのほうがいいですね。健康や食事のことなどは家庭で知ってても
らったほうがいいと思います。

会長 受講のあとアンケートなどで効果を確認する予定はありますか。

事務局 参加者には目標を立ててもらい、毎回、講座の後に振り返りの時間
を設けアンケートを実施する予定です。

また、今回は平成28年度の健診結果をもとに募集するので、平成
29年度以降の健診結果と比べ追跡調査していくことで、プログラムの
効果などを検証していくことも考えています。

委員 今回の事業は糖尿病に特化したものになっていますが、糖尿病は長

久手市の医療費の第2位とのこと。第1位は何ですか。

事務局 平成27年度の状況でみると、多いのは高血圧症、脂質異常です。この状況から、今年度は肥満や高血圧を対象とした事業を実施しました。

委員 人工透析を受けている人が13人とありますが、予備軍と呼ばれる人が何人くらいいるかは把握していますか。

事務局 血糖値の基準値を超えている人は900名程度います。すぐに治療を必要とする人が80名程度います。

委員 特定保健用食品（トクホ飲料）を健康のためにと多量に飲んだせいで糖尿病になってしまったという人がいる。予備軍と呼ばれる人たちにはぜひとも正しい知識を身に付けていただきたい。

事務局 通院していない人は自覚症状もなく、何をしたらいいかもわからない人がほとんどだと思います。糖尿病の人だけでなく、誰もが関わりのある食事についての講義も取り入れ、特に減塩について理解を深めてもらおうと思っています。今年度、塩分測定器を購入し、教室の参加者には家庭の味噌汁の塩分濃度を測っていただくことも行いました。

教室で学んだことを日常生活の中に取り入れ、健康に過ごすきっかけになればいいと考えています。

会長 本日の議題は以上ですが、その他、事務局何かありますか。
その他、委員の皆様、意見等はございませんか。
それでは、本日の議題は以上となります。

以上をもちまして、平成28年度第2回長久手市国民健康保険運営協議会を終了とします。委員のみなさま、おつかれさまでした。

午後3時終了